

私たちができること



私たちはどんなことができるのでしょうか。

まずは知ることが大事だよ。知らなければ、始まらないからね。次は、無理なくできることからやってみること。例えば、一人当たり1日500gのごみを出しているんだけど、この3%にあたる15g（ウズラの卵3個分）ずつみんなが減らしてくれたら、ごみの量は年間400トンも減ることになる。そうすると、ごみ処理にかかる経費は約1,000万円も減る可能性があり、その分を医療や介護や福祉などに回すことができるかもしれない。



少しのことでみんなやればすごい効果ですね。私もこのくらいなら出来るかも。もうちょっと出来そうなときは何かありますか？

例えば、段ボールのコンポストはどうか。家庭からでるごみの7割が生ごみを含む燃えるごみだから、それを減らしたら効果が大きいよね。作り方は、段ボールに腐葉土と米ぬかを入れて、水で湿らせるだけだよ。あとは生ごみを入れて1日1回かき混ぜるだけで、家庭菜園などに使えるたい肥が出来上がるんだ。ちゃんと管理していれば、微生物が分解してくれるから臭いもしない。それに、腐葉土や米ぬかなど材料は全て安価に手に入る。



■ 生ごみのたい肥化(コンポスト化)

➢ 段ボール式生ごみコンポスト

段ボールに、腐葉土と米ぬか等を混ぜたものを入れて発酵させ、微生物の働きで生ごみを分解する。



段ボールの良いところ

- ★安価で、簡単に作れる！
⇒材料の入手が容易。
- ★通気性に優れている！
⇒生ごみの発酵・分解時に出る水分を適度に発散できる。
- ★保温性に優れている！
⇒生ごみの発酵・分解に必要な温度を保てる。

■ 用意するもの

- 段ボール
- 腐葉土
- 米ぬか
- 布テープ
- 底板
(段ボールを切ったもの)
- ゴム手袋
- 移植べら

■ あると便利なもの

- 温度計
- はかり



最近は巣ごもりも多いし、家庭菜園を始めるきっかけとしていいかもしれないですね。でも、画像だけじゃわかりにくいですね。

作り方も含めた一連の流れを紹介した動画があるよ。市内で活用する高校生 YouTuber おたみやが、師匠の平山さんに教わりながらごみを減らそうと奮闘するんだ。詳しくは動画を観てね。

